

保育園生活説明書

●全ての項目をお読みいただき、確認項目に☑チェックをお願いします。

保育園生活について

- 必要に応じて保護者同伴の慣らし保育を行います。
- 集団保育に慣れるまでの間は、月～金曜日の短時間認定保育時間内（8時30分～16時30分）での保育になります。
- 集団生活は、感染性疾患になることがあります。
- 感染性疾患（発熱・咳・おう吐・下痢・発疹・発赤・目やにや目の充血など症状がある場合）と思われるときには、病院受診と医師の指示により家庭保育をお願いします。
- 集団生活のため昼食の時間・昼寝・おやつの時間等、1日のスケジュールを大幅にずらすことはできません。
- 保育園では、室外の活動も多く活動中に体調不良を起こすことやケガをすることがあります。
- 個人対応の保育士はありません。
- 保育園に看護師を配置していますが、園全体の看護師業務を行っています。
- 個人専属で病気やケガ等の看護をする看護師はありません。
- 体調不良時は、早急にお迎え対応（基本30分から1時間以内）をお願いします。
- 保育時間内に保育園からケガ等で受診する際は、保護者が到着し、同席による受診となります。診療費の支払いをお願いします。全ての治療が終わりましたら保険会社の書類（示談書）にサインをしていただきます。
- 病児保育は、行っておりません。（病児・病後児保育室等の利用を検討してください。）
- 保護者がお休みの時は、家庭保育をお願いします。
- 保護者以外にも送迎できる方を園にお知らせください。
- 緊急時に備え優先順位3か所の連絡先をお知らせください。

熱の対応について

- 登園前に検温や体調観察を行い、37.5℃以上の時には家庭保育をお願いします。
- 0・1歳児クラスは、午睡明けに1回検温を行います。
- 登園後は、38.0℃以上で保護者にお迎えの連絡をします。
- 発熱がなくても体調不良がある時は、お迎えの依頼をすることがあります。
- 38.0℃以上の発熱した翌日は、家庭保育をお願いします。
- 感染症流行時には37.5℃未満でもお迎えをお願いすることがあります。
- 体調不良時の兆候や前駆症状を事前にお伝えください。
- 平熱より熱が高めの時や体調がいつもと違う時は、必ず職員にそのことを伝えてください。

おう吐・下痢の対応について

- 感染力が強いためおう吐・下痢があった時には、お迎えをお願いします。
- おう吐や下痢があった翌日は、家庭保育をお願いします。
- 感染症流行時には、2日以上の家庭保育をお願いすることがあります。
- おう吐や下痢が治まり通常の食事がとれるようになってから登園をお願いします。

食事等について

- 食事や水分でむせて咳き込んだり、詰まったりすることもあります。
- 食事の際、専属で保育士を加配することはできません。
- 食物アレルギーがある場合は、給食やおやつの時間に誤食防止のため他児と離れたテーブルで食事をとらせていただきます。
- 食事の際にアレルギー症状が出た場合は、早急にお迎え対応（基本 30 分）をお願いします。
- アレルギー症状が出た場合は、救急搬送になることもあります。
- アレルギー症状があった翌日は、家庭にて体調を確認してください。体調が戻ってから登園をお願いします。

保育について

- 保育士配置基準は、（園児数に対しての保育士数）

0歳児：3 対 1
1歳児：5 対 1
2歳児：6 対 1
3歳児：15 対 1
4歳児：25 対 1
5歳児：25 対 1

- 環境の変化等に伴いお子様の安全面に配慮が必要と思われる時は、活動に参加できない場合や保護者の付き添いをお願いすることがあります。

疾病のあるお子さんについて

- 疾病の状態によって対応を検討させていただきます。
- 持病の再発や持病によるケガなどは、園で加入している保険の適応になりません。
- 肘内障の既往があり保育活動中に再発した場合は、園で加入している保険の適応にならないことがあります。早急にお迎え対応（基本 30 分）をお願いします。

その他について

- 必要に応じて児童発達支援施設等の紹介や連携をさせていただく場合があります。
- 進級の際に園長・担任・栄養士・看護師と面談し体調や活動について確認させていただくことがあります。

個人情報の取り扱いについて

- 特定教育・保育の提供に当たって職員及び職員であった者が知り得た個人情報や秘密は、法令による場合を除くほか、保護者の同意を得ずに第三者に提供することはありません。

上記の内容について全て同意します。

年 月 日

児童氏名

保護者氏名